



# News Letter



## 子供の変化がうれしい



### 良い子であれば正解なのか？

子供が学校からもらってきたチラシでセルラスを知りました。講演会で「思考・表現・判断力を教えることは難しい。これらは自分で見つけるもの」という講師の話がとても印象的でした。自分は子供をどう見ているのか？学校で「良い子」であれば正解なのか？もっと次元の違う何かが必要なのでは？という、いつも漠然と抱いていた疑問。それを見つけたいと思いました。



### 体験会に行くのを拒否した子供たち

早速、小6の娘と小2の息子を体験会に誘ってみました。しかし“どんなとこなのか早く行って見てみたい！”と思う私とは逆に「多言語」と聞いただけで「=勉強」と思った2人は「え〜！」と拒否。息子は「ついていだけなら」とすぐに言ってくれたのですが、一方、娘の方は...  
「英語もできないのに」  
「同じ年齢の子はいるの？」  
「一時間半も一体何をするの？」  
と真面目な性格から、想像がハードルを上げてしまいネガティブな発言の連発でした。



### とにかく見てみようよ

娘がこうになってしまうのはよくある事で、いつもなら諦めてしまうことも多いのですが、  
『やらないうちに自身で作ら上げた恐怖で終わらせてしまうのか？』  
『この一歩を踏み出すか否かが大事なポイントなのでは？』  
と思い、「とにかく見てみようよ。嫌だったら帰ろう」と言ってなんとか参加することになりました。



## 子供に急かされるように入会



しかし蓋を開けてみると、  
体験会で初めてのロールプレイにドギマギする私とは裏腹に  
子供たちはすぐに慣れ、帰りの駐輪場では

娘「ロールプレイ、少しできたよ!!」

息子「多言語ゲームが楽しかった!」と大興奮!

「お母さんはロールプレイ、ちょっと恥ずかしかったな〜」  
なんて言葉は全く聞き入れてもらえず、子供たちに急かされるように入会しました。



## 多言語をポロっと口にする息子



活動を始めて数か月が経ちましたが、息子はやる気がないように見えても、急に挙手して発表したり、ある時は、私の小言を聞いた後に、韓国語で「クロントウショックナー、チャヘルアラッソ」（そういうことだったんだ、よくわかった）とか、突然部屋に入ってきた父親に、スペイン語で「ケパソ、パパ?」（お父さん、何か用?）などふざけながらポロっと口から多言語が出てきます。

## 『やらない後悔』を知った娘

そして娘は、今も時々ドキドキする場面に遭遇しているようですが、間違いや失敗だけを恐れていた頃とは違い、

『やらない後悔』というのを知ったように思えます。

ピアザでの発表や留学生のホームステイ受け入れ、

イベントの準備会諸々をやるか否かで一度迷って、

踏ん張ってやるほうを選択していて、なかなかすごいなと思います。



## セルラスの魅力は人



セルラスの魅力はやはり「人」だと思います。毎週ピアザで仲間に来て、短いながらも丸ごとその人の話を聞ける。

忙しい日常の人付き合いでは、できそうでなかなかできないことです。

なので、私は子供たちの報告を聞くのが何よりも好きです。

どの子も『体験から感じて、自分で見つけたこと』を話していて、飾らず、骨太な話が多いです。



そしてそれを話している子は確実に変化しているように見え、その場に居合わせられることがとても嬉しく、元気をもらってます。

大人の私も頑張らなくては!と思う今日この頃です。